

W3C/Keio introductions 2010.2.18

[W3C/Keio 2009 results]

1、W3C活動状況 (前回W3C日本会議以降)

- 1)TPAC 2009.11.2-6 at Santa Clara
- 2)AC 2010.3.21-23 at Boston (参加募集)

2、W3C/Keio活動状況

- 1)体制強化:ABに夏野先生が就任。
- 2)HTML5日経8月号特集対応
- 3)展示会参加 7件
- 4)講演会実施 7件
- 5)会員企業と連携活動 3件
- 7)SVG Japan IGの推進
- 6)HTML5 Japan IGの設立
- 7)ステッカーの作成配布

3、今後

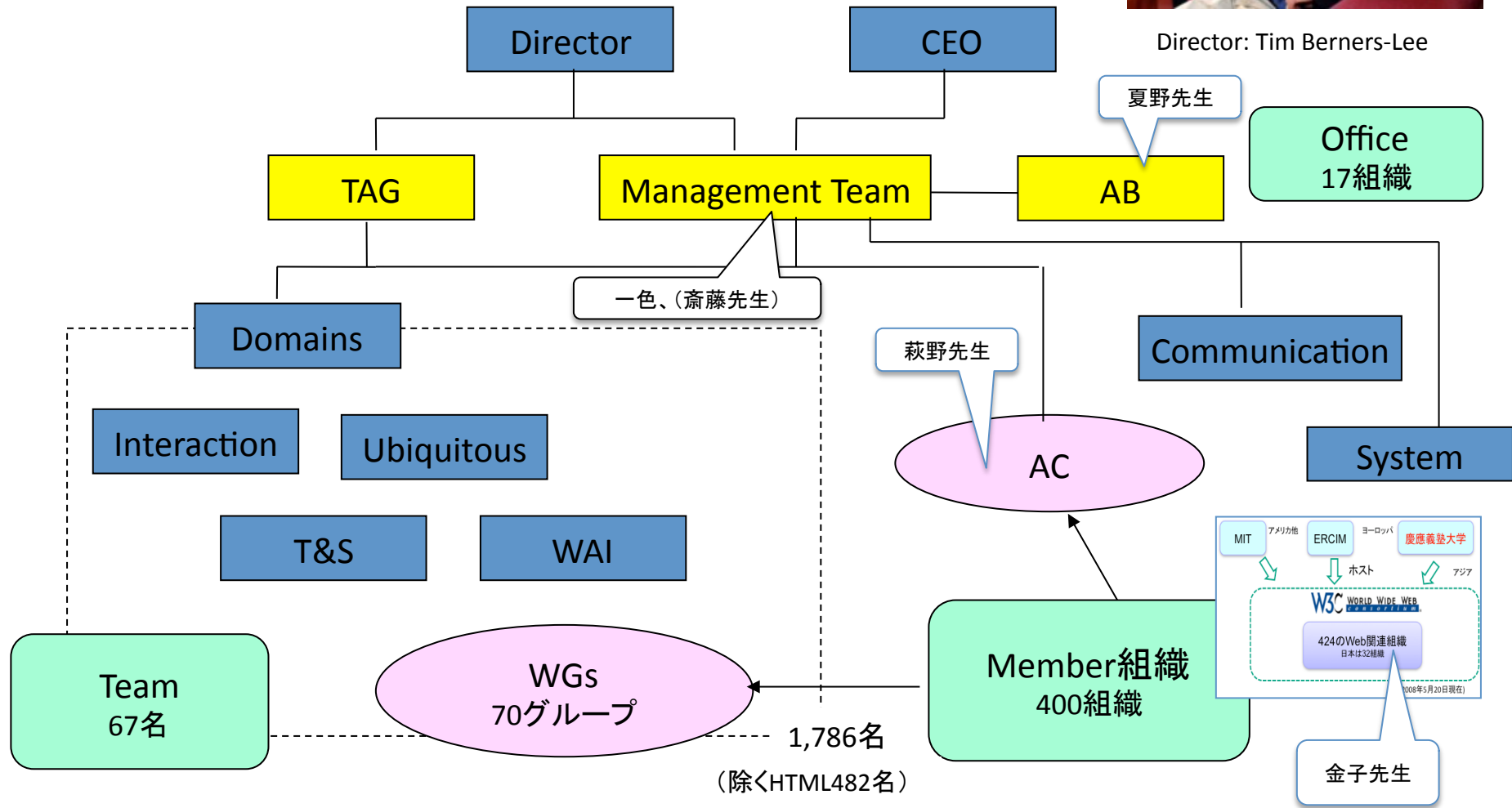
- 1)総務省との連携Pjによる、普及促進体制の強化と推進
- 2)次年度へ向け、展示会推進体制の強化



W3Cの組織



Director: Tim Berners-Lee



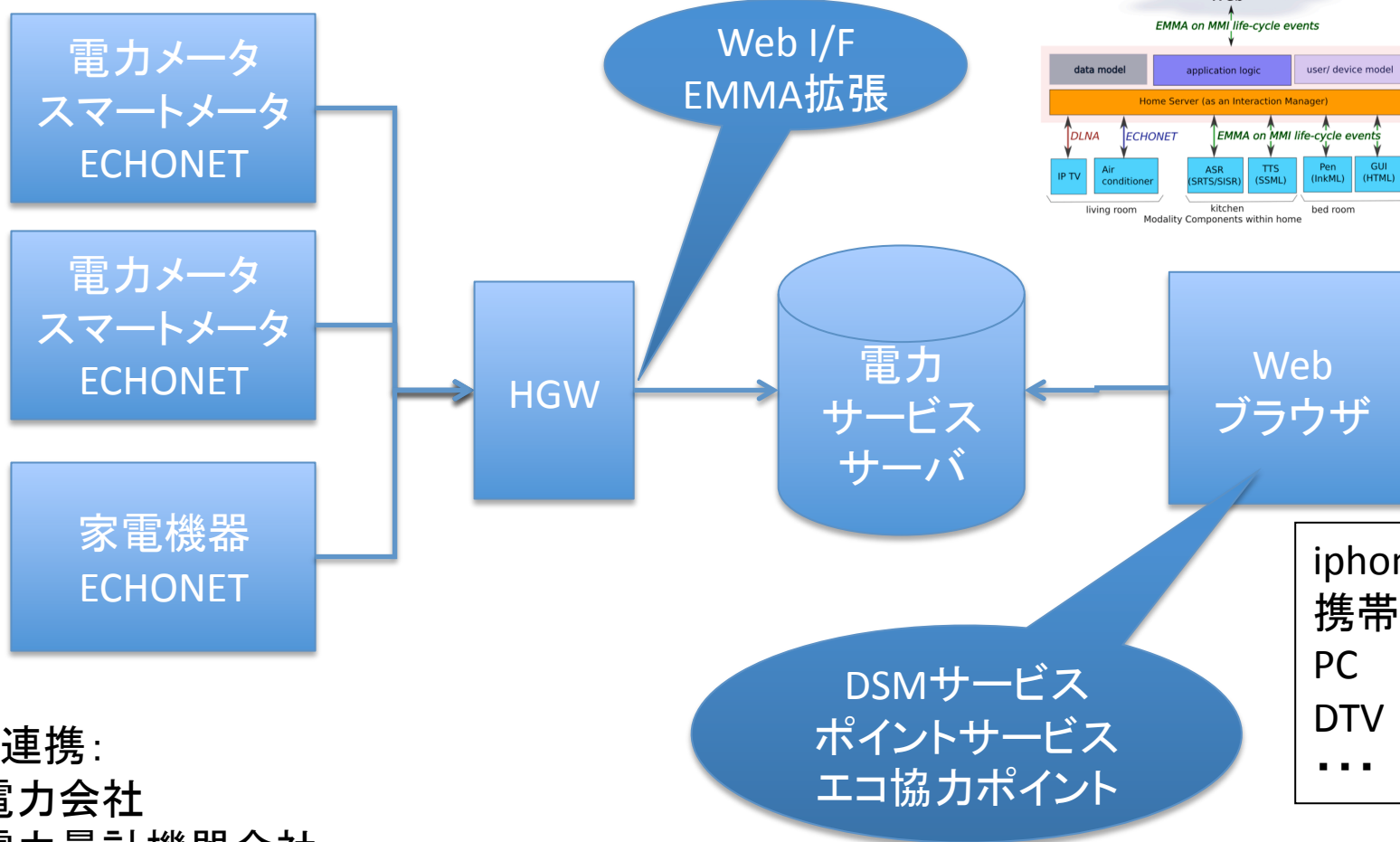
★2009年度は、夏野先生がABで参加開始。

最新のウェブ標準が提供する機能

- HTML5
 - Web Storage
 - Web Workers
 - Web Sockets
 - canvas
 - Drag and Drop API
- SVG(Scalable Vector Graphics)
- Geo Location APIs
- MMI/EMMA

HTML5を中心に、日本メンバからの発信を支援してゆきたい。

★機器連携(スマートメータ連携)



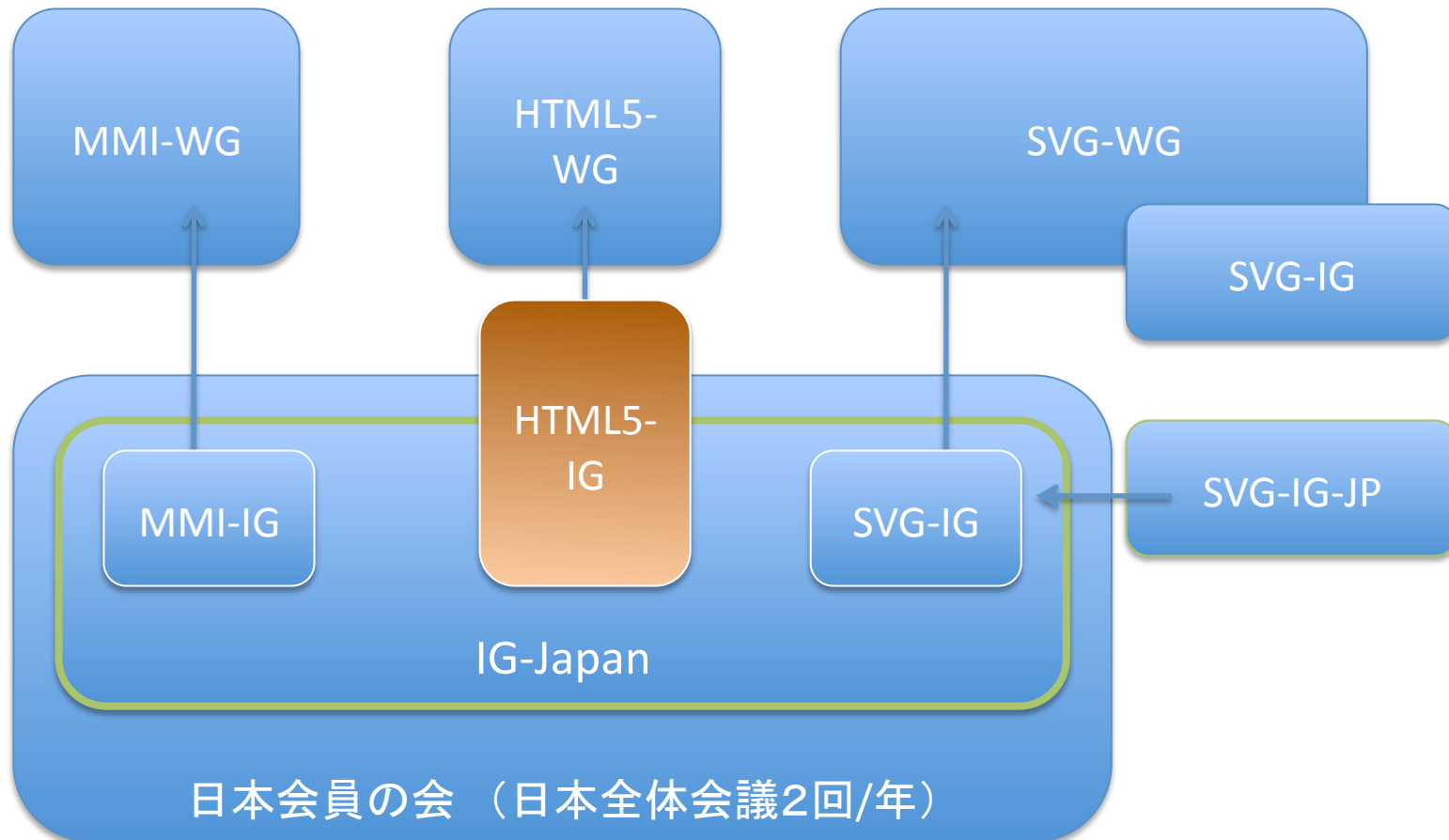
企業連携:

- 1、電力会社
- 2、電力量計機器会社
- 3、スマートメータサービス事業者
- 3、Webブラウザ会社

★技術:セマンティックWeb の応用

日本会員サービス2: HTML5 Japan IG (J-IG)(12月から開始)

日本会員の会の中に、会員対象としたIG-Japanを1つ組織。HTML5から始めるが、将来は、ほかテーマを論議し、日本からの発信を目指したい。



活動: F2Fテーマ部会 = 1回/期。(全体会議の時は兼ねる)
情報は、共通メールリストにて運営。個別は、テーマリーダーをつけて運用。

W3C/Keio 2010

メンバ企業との連携 強化してゆきたい。

- 1、展示会 連携展示の考慮と推進 興味ある会員殿連絡ください
=大きな展示会は、boothでの連携展示を進めたい。
> interop2010, OSC2010, ORF2010, CEATEC ほか。(各2009では単独参加)
- 2、連携講演会 & セミナ 各企業のイベントへ連動参加したり都度企画してゆく。
=教育セミナー: 継続的に技術紹介でのW3C理解者の増加と会員企業の支援
> HTML5セミナーを2009に、インターネットアカデミー社と実施。
> W3C横浜フォーラム、NextStage社とW3C紹介セミナーを開催。
=普及セミナーの実施:
> Androidの可能性セミナー、NTTドコモ社、日経社と共催で実施。
> HTML5, MMI, Semantic Web, XBRLほかなど、未実施テーマいっぱいある。
- 3、その他
 - 1) 会員企業殿名刺へのW3C/Memberマーク印刷の推奨。
 - 2) W3C技術仕様の活用普及に資する連携活動提案の受付と推進。
 - 3) W3C仕様 & Webサイト翻訳の連携と支援
 - 4) W3Cへの情報発信の連携と支援

W3C関係URL

W3C全般について:

- * W3Cトップページ=<http://www.w3.org/>
- * W3Cについて=<http://www.w3.org/Consortium/>
- * 初めて訪れる方向けの説明=<http://www.w3.org/Consortium/new-to-w3c.html>

標準仕様策定活動について

- * W3C Process Document=<http://www.w3.org/2005/10/Process-20051014/>

特許方針について

- * W3C Patent Policy=<http://www.w3.org/Consortium/Patent-Policy-20040205/>
- * Patent Policy FAQ=<http://www.w3.org/2003/12/22-pp-faq.html>
- * Implementation of Patent Policy=<http://www.w3.org/2004/01/pp-impl/>

W3C文書の日本語翻訳集=<http://www.w3.org/2005/11/Translations/Query?titleLanguageMatch=&lang=ja&search2=Submit>

標準準拠確認ツール (Validator)=http://validator.w3.org/#validate_by_uri

【参考】

W3C案内情報 URL等

入会に興味ある方へ案内ください。また、W3C/Keio keio-contact@w3.orgまでご一報ください。

1、W3C活動紹介

現在は、正式版は英語になっていますが、ご活用ください。

★説明ページ: <http://www.w3.org/Consortium/join>

★W3C全般: <http://www.w3.org/Consortium/about-w3c> (英語)

★日本語版「W3C活動概要」:

<http://www.w3.org/2009/04/w3c-keio-chronology/leaflet-200811.pdf>

2、入会申込書(案内)

入会は、3ステップになっており、下記の申し込み書ページからステップ1を送ってください。すると米国の本部からメールが来ます。その後、ステップ2へ進み、契約書をやり取りして完了。との流れになります。

★申し込みページ: <http://www.w3.org/Consortium/application.php3>

* 日本語による記入方法ガイド: [W3c Application Step 1.pdf](#)

2、契約書雛形(英語) 上記で触れた申し込みページから具体的な契約書(Membership Agreement)へのリンクがあります。

★契約は、日本会員の契約は、慶応義塾大学のSFC研究所と締結します。

★会費は、年間売上57億円以上の企業殿は、740万円/年(10.2.1現在)。

なお、年間売上57億円以下の場合は、85万円/年(10.2.1現在)